

## 自主企画 ミニシンポジウム

11月7日(日) 14:20～15:50 第6会場(401会議室)

テーマ：老年看護のスペシャリストが育つ・輝く！

### 1. 企画主旨説明・司会

内田陽子(群馬大学医学部保健学科)

### 2. 話題提供者Ⅰ

テーマ：「印象に残った教育と新人CNSのビジョン・活動状況」

シンポジスト：斎田綾子(公立七日市病院 老人看護CNS・看護サブマネジャー)

河端裕美(脳血管研究所美原記念病院 老人看護CNS・看護主任)

### 3. 話題提供者Ⅱ

テーマ：「CNSが育つための支援と看護戦力の原動力を高める新人CNSの活かし方」

シンポジスト：大沢幸枝(公立七日市病院 看護部長)

高橋陽子(脳血管研究所美原記念病院 看護部長)

### 4. ディスカッション

司会：内田陽子(群馬大学医学部保健学科)

## 企画主旨

超高齢社会を迎えたわが国において老人看護CNSはまだ不足している。2010年群馬大学から念願の老人看護CNS2名が誕生した(群馬県初)。そこで、今回、自主企画として、CNSを育てるための手作りの教育方法と内容、そして、CNSが育ち、輝くための現場での具体的な支援と活用法について、当事者(新人CNSと看護管理者)から新鮮に自由に語ってもらい話題提供する。それと同時に、会場の参加者の諸先輩方、これから教育される予定の先生方、看護現場の方々、CNSを目指す看護師の皆様からのご意見をいただき、かつ、一緒にディスカッションし、テーマの答えを探索したい。

## 交流集会

11月7日(日) 10:20～11:50

### ■学会企画交流集会：第8会場(505・506会議室)

#### 老年看護における特定看護師の方向性と課題

太田喜久子(日本老年看護学会 理事長)

専門看護師が社会に認知される迄には時間を要しますが、今回新たに「特定看護師(仮称)」が検討されています。日本老年看護学会としてこのような動きに対して、どのように対応していったらよいのか、皆様と共に意見交換したいと考えました。岡本充子氏に老人看護専門看護師の看護実践を高めるための医療行為について発言頂きます。特定看護師の方向性と課題については講師交渉中。特定看護師の今後の方向性、課題、老年看護として何が可能か明らかにします。